

(池田)

名古屋市の発展を概略的に示そうと思う。これは今後の研究において個別に進めて行く場合には、一応理解に~~あ~~おいておき下りものである。

名古屋の市制はM.22年10月1日に施行された。当時。市域は名古屋城を底辺として南にのびた逆三角形の地域で面積13km²余、人口15万7千人であった。その後^{ついで}に南に伸び、M.40年熱田港の完成を期に熱田町及び小碓村の1部を合併。その結果事務の便宜のため翌41年4月1日に全市を東・西・中・南の4区に分け区内の徴税及び戸籍等の行政事務を処理させた。大戦による急激な経済上の発展は市の東部及び西部への市域拡張を促進し、遂にT.10年16町村の大合併が実現。S.12年3月には庄内町、下之区町、萩野村合併。同年10月市制施行記念日を機に新しく6区を増し全市を千種、東、中村、中、昭和、熱田、中川、港とした。日華事変の勃発と共に~~戦況~~まわりの発展の傾向を示し、そのためS.19年2月北、東、瑞穂の3区を加える13区とした。しかし今次の大戦の結果、市の受けた被害は全市の半に達し戦災及び疎開等により終戦直後の人口は59万7千人に減少。特に市中央部の被害と人口減少が大きかったためS.20年には中、東を合して中区とし、2区となった。その後戦災復興土地区画整理事業の画期的進展により市街地の復興もめざましくS.28年10月町村合併促進法の施行により全国的に町村規模の適正化がはかられた。S.30年愛知郡猪高村、天白村、海部郡南陽町、富田町、西春日井郡山田村、楠村の合併。

38年守山市、鳴海町、39年大高町、有松町を合併。なお本市将来計画基本要綱によれば、S.60年の本市想定区域は都市計画、上必要とされる15km圏に含まれる周辺10町村(上野、横須賀、西枇杷島、清洲、新川、甚目寺、弥富、大治、十四山、飛鳥)を併せた地域が計画されている。

終戦後に於ける研究は、道路、交通について、その施行の目的、完成による経済的影響等を中心に行なう。

ex. 名古屋市の街路形態は、中心部では約500m、周辺部では約1000m間隔で巾の広い幹線街路を配し、その中向に補助幹線街路を配置する計画されている。特に2本の100m道路が市中心部で丁字形に交わり、これに新堀川の空間が接続することにより、緑地帯を導入することにより都市部を4分に強力な防火帯を形成している。

現在の交通整備の目標は、大體か短時間に集中する通勤通学輸送を主体とした旅客輸送の処理にあり、このためには高速鉄道の整備と路面交通の整備とを考慮し、総合的、有機的な交通網の形成が必要。

つまり路面電車のS.60年までの廃止、バスの拡充、輸送主体としての高速鉄道の拡充を目標とする。

(池田)

名古屋市の発展を概略的に示そうと思う。これは今後の研究において個別に進めて行く場合には、一応理解に~~あ~~おいておき下りものである。

名古屋の市制はM.22年10月1日に施行された。当時、市域は名古屋城を底辺として南にのびた逆三角形の地域で面積13km²余、人口15万7千人であった。その後次第に南に伸び、M.40年熱田港の完成を期に熱田町及び小碓村の1部を合併。その結果事務の便宜のため翌41年4月1日に全市を東・西・中・南の4区に分け区内の徴税及び戸籍等の行政事務を処理させた。大戦による急激な経済上の発展は市の東部及び西部への市域拡張を促進し、遂にT.10年16町村の大合併が実現。S.12年3月には庄内町、下之区、萩野村合併。同年10月市制施行記念日を機に新しく6区を増し全市を千種、東、中村、中、昭和、熱田、中川と名づけた。日清戦争の発展と共に~~市域~~市域の発展の傾向を示し、そのためS.19年2月北、東、瑞穂の3区を加え13区とした。しかし今次の大戦の結果、市の受けた被害は全市の半に達し、戦災及び疎開等により終戦直後の人口は59万7千人に減少。特に市中央部の被害と人口減少が大きかったためS.20年には中、東を合して中区とし、2区となった。その後戦災復興土地区画整理事業の画期的進展により市街地の復興もめざましく、S.28年10月町村合併促進法の施行により全国的に町村規模の適正化がはかられた。S.30年愛知郡猪高村、天白村、海部郡南陽町、富田町、西春日井郡山田村、楠村の合併。

38年守山市、鳴海町、39年大高町、有松町を合併。なお本市将来計画基本要綱によれば、S.60年の本市想定区域は都市計画、上必要とされる15km圏に含まれる周辺10町村(上野、横須賀、西枇杷島、清洲、新川、甚目寺、弥富、大治、十四山、飛鳥)を併せた地域が計画されている。

終戦後に於ける研究は、道路、交通について、その施行の目的、完成による経済的影響等を中心に行なう。

ex. 名古屋市の街路形態は、中心部では約500m、周辺部では約1000m間隔で巾の広い幹線街路を配し、その中向に補助幹線街路を配置する計画になっている。特に二本の100m道路が市中心部で丁字形に交わり、これに新堀川の空間が接続することにより、緑地帯を導入することにより都市部を4分に強力な防火帯を形成している。

現在の交通整備の目標は、大體か短時間に集中する通勤通学輸送を主体とした旅客輸送の処理にあり、このためには高速鉄道の整備と路面交通の整備とを考慮し、総合的、有機的な交通網の形成が必要。

つまり路面電車のS.60年までの廃止、バスの拡充、輸送主体としての高速鉄道の拡充を目標とする。

序 熱田神宮はわが郷土にあり、しかも、全国的に有名な神社(年間約90万人、即ち日本全国民の約一割が参拝、ちなみに昭和43年正月三日間の参拝者は169万人)ではあるが、いざ、熱田神宮とは? と尋ねられると、サテ、コマツタと言うのか、大奇分の人の偽らざる気持ちだと思ふ。

そこで、今回は熱田神宮の起源を述べるとともに、熱田神宮の祭神事を述べて、熱田神宮をもっと身近なものにしてもらい、また、熱田神宮は民衆の神社であることを知ってもらおうと思ふ。

I 起源

熱田神宮の祭神は、草薙剣を御霊代としてよせる熱田大神、即ち、天照大神であるが、その他に素戔嗚尊、日本武尊、宮簀媛命(みやすひめのみこと)、建甕槿命(たけいみなたねのみこと)と計5人の神が祭られており、五神さまとか、五座の大神、といわれている。

神宮の起源は、日本武尊と宮簀媛命の二人をたどって行けば自然と判明するから、そこから始めよう。

日本武尊は12代景行天皇の皇子で、天皇より「形はわが子なれど、実は神人」と信任され、16才にて熊襲を平らげた。そして東国蝦夷征伐の大命を受け、途中伊勢神宮を参拝し、伯母の倭媛命(やまとひめのみこと)より神剣と燧囊(ひうちぶくろ)を授かる。

尾張では吾湯市(おゆら)の水上の里(現在の緑区大高所)にあつた園造、平止々命(おとよのみこと)の館に宿

を借りた。また駿河の焼事では賊の放った野火に
対して、燵で賊に向い火をつけ、伯母より授かった神劍
で草を薙いで野火を防ぎ、難をのがれた。これが叢雲
劍が草薙劍ともいわれるゆえんである。さう、任を果
たした武尊は帰途、尾張に再びより、乎止与命の女
宮、賀媛命を妃とする。しばらく平和な日を過ごしたが、
伊吹山に賊ありと聞き、劍を媛のもとに置いて出發。
ところが山中で毒氣にふれて病氣となり、伊勢の能
楽野(のほの)(現在の銚鹿郡川崎村大字田村)で
死ねた。武尊は重態の時も劍のことを心配して

おとめの床のべにわがおきし。

劍の太刀、その太刀はや

という歌まで詠んだ。そこで媛は火高(現在の大高)
に殿舎を造営して、劍を奉納した。そして、その殿舎
を大化三年(64年)に厚田(即ち熱田)に移したのが
熱田神宮の起源である。

※ 今述べてきた所からすると、なぜ熱田神宮の
祭神が~~日本武尊~~天照大神なのか?と疑問が
起きるだろう。僕の考える所では、神宮としては祭神は
誰でもよいのであつて、本当に祭りたいのは三種の神器の
一つである草薙劍であらう。草薙劍がどれほど崇拝
されていたかは後の祭のところで述べることにして、叢雲
劍と言へば、すく素盞鳴尊そして天照大神の名が
浮かぶ。そこで叢雲劍に相当するような神、つまり
日本の神々のうち最も信頼をよせられ、太陽神で
ある天照大神を祭神としたのであらう。そして

これには前にも述べたように、ただし書きのようなものがあつて天照大神は草薙剣を御霊代としてよせているのである。参考までに神剣を祭神とする社は熱田神宮と大和の石上神宮のみである。

II 祭 及び 特殊 神事

熱田神宮には年間約60回の祭のほか、10回の特殊神事がある。主なものは次のとおり。

元旦祭 1. 1	初えびす 1. 5
世様神事 1. 9	踏歌神事 1. 11
封水世様神事 1. 12	歩射神事 1. 15
舞楽神事 5. 1	酔笑人神事 5. 4
神輿渡御神事 5. 5	豊年祭 5. 8
御衣祭 5. 13	井戸のそぎ 6. 1
熱田祭 6. 5	南新宮社祭 6. 5
御田植祭 6. 18	鈴之御前社祭 7. 31
神輿渡御祭 8. 8	名古屋まつり神幸祭 10.
七五三詣 11. 15	御煤納神事 12. 25
除夜祭 12. 31	

以上の中から、ちつぽと取り出し簡単に説明しよう。

。世様神事・封水世様神事

まず、封水世様神事の時、斎庭(いばり)に一定量の清水を汲み入れ、厳封して東宝殿の床下に納め、翌年、一月七日の世様神事の時に床下より取り出し、封を解き、減った水量を計り、その年の雨量の多少、干魃の有無、そしてその年の豊凶を占う。

。踏歌神事（オベロベロ祭、アウレバシリの神事）

平安朝時代、宮中の年中行事であった踏歌節会の行事が熱田神宮の神事にとり入れられたもの

踏歌節会とは年の始めにあたり、早春の季を迎えらるる際、大地を踏んで土地の精霊を鎮め、除厄と招福とを神に祈る行事である。振られる振鼓の音色によってその年の豊凶がとられる。

。歩射神事（歩射会、御的）

起源は不明だが、古来朝廷で行なわれていた新春の歩射の行事にならった一種の豊年と除災とを神に祈る神事。また、この神事は武尊が律吹して大蛇にかまれ死んだ恨みを晴らすためといわれ、的を蛇の目と見、蛇の目を射抜く社家一代の大役で射ち損ねた時は割腹した。

。豊年祭（御穀祭、花の撓、おたけし）

武尊が東夷平定の際、道すがら広く人民に農耕、養蚕、培綿の術を授けた徳を追仰する祭である。

祭の数日前に神職が陸田模造の畠所と水田模造の田所との模型を作り、一般に展覧する。豊民は、この模型の出来具合によって、その年の豊凶を占う。

※ 以上述べた祭は一般民衆、特に豊民が対象となっている。次に、神劍還御の縁故に因る神事を二つ。

。醉笑人神事（オホホ祭、於賀斯祭）

神劍が皇居に留まったことがあったが、神慮により熱田神宮に還座された時、社中、歡喜笑樂した状を今に伝える非常に珍らしい行事。

・神輿渡御神事

神劍還御の際「都を離れ熱田に幸すれど永く皇居を鎮め守らん」との神託のまにまに鎮皇時(西門)に神幸せられ、樓上に神輿を上げ、はるかに皇居をみえなわし、皇城镇護の祭を行なう。
 ※ この神輿渡御神事に於て、我々は神劍がどれほど厚く崇拜されていたかを知ることかできる。即ちここに於ては神劍を返してもらおうという受動的な立場は見られぬ。それどころか「神劍は都を離れ熱田に行くが、永く皇居を見守つてやろう」というように、皇居よりも神劍の方を上とする見方があることを我々は考えねばならぬ。

・何か、わけの解らないような内容になってしま、たがそれは僕の不勉強にあると深く深く反省しています。実はもう一つ、有名でありしかも知もしろい伝説として残っている「楊貴妃と熱田大神」について述べてみたかったのですが、時間がないので、要しからす。

文献

熱田神宮

熱田神宮